

2024年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：ミクロ経済学特論 I	
担当教員名：森 統	
<p>授業科目概要：</p> <p>ミクロ経済学は、希少な資源の配分に関する記述的(事実解明的)な分析および規範的な分析を扱うものである。まず、家計や企業の意思決定や行動を定式化し、市場メカニズムや均衡の特性を明らかにする。そのうえで経済制度の仕組みや資源配分に影響を与える規制や課税などの政策のありかたを検討することが主な課題となる。</p> <p>本講義では、伝統的なミクロ経済理論の主題となる消費者行動、生産者行動および市場均衡に焦点をあて、受講者がその理論構造を厳密に理解することをめざしてゆく。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>教科書は以下のものを予定しているが、最初の講義時間において、改めて講義計画の説明とともに指定する(入手するのはそれ以降で構いません)。</p> <p>受講にあたっては、教科書を精読するよう心がけること。</p>	
教科書・参考書(参考文献)	
<p>書名 : ミクロ経済学の力 (教科書)</p> <p>著者/編者 : 神取道宏</p> <p>出版社 : 日本評論社</p> <p>出版年 : 2014</p>	<p>書名 :</p> <p>著者/編者 :</p> <p>出版社 :</p> <p>出版年 :</p>
<p>書名 :</p> <p>著者/編者 :</p> <p>出版社 :</p> <p>出版年 :</p>	<p>書名 :</p> <p>著者/編者 :</p> <p>出版社 :</p> <p>出版年 :</p>
<p>書名 :</p> <p>著者/編者 :</p> <p>出版社 :</p> <p>出版年 :</p>	<p>書名 :</p> <p>著者/編者 :</p> <p>出版社 :</p> <p>出版年 :</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>授業において適宜課す課題(発表・レポート等)の出来栄に応じて評価する。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>教科書に沿って、主として講義形式で進めるが、ときに教科書・参考書の特定のパートや演習問題の解法について受講者の発表を求めることがある。また、適宜問題演習を行う。</p> <p>本講義では、受講者が、ミクロ経済理論に習熟し、ミクロ理論にもとづいた内外の専門的論文を読みこなすこと、また、理論を応用し独自の分析をするための最低限の力を身に着けることを目標とする。特に、必要とされる数学的展開に十分になじむことを意識して進めてゆきたい。</p> <p>受講者の関心や意欲に応じて、より詳しい内容や展開を他の文献から取り出して扱うこともある。(それに伴い、講義スケジュールが調整されることもある)</p>	

第 1 回	テーマ：ミクロ経済学の方法と目的 内 容：ミクロ経済学とは、ミクロ経済学分析の特徴 教科書 序章
第 2 回	テーマ：需要と供給 内 容：需要曲線と供給曲線の基礎的理解
第 3 回	テーマ：消費者行動の理論(1) 内 容：合理的行動仮説、消費者の選好と無差別曲線 教科書 第1章
第 4 回	テーマ：消費者行動の理論(2) 内 容：効用最大化と最適消費計画、 教科書 第1章
第 5 回	テーマ：消費者行動の理論(3) 内 容：所得変化と需要、価格変化と需要、代替効果と所得効果 教科書 第1章
第 6 回	テーマ：消費者行動の理論(4) 内 容：労働供給の決定、支出関数、補償需要関数 教科書 第1章 第3章
第 7 回	テーマ：消費者行動の理論(5) 内 容：個別需要曲線と市場需要曲線、需要の価格弾力性 教科書 第1章
第 8 回	テーマ：企業行動の理論(1) 内 容：生産要素が一つの場合の企業行動 教科書 第2章
第 9 回	テーマ：企業行動の理論(2) 内 容：生産要素が二つの場合の企業行動 教科書 第2章
第10回	テーマ：企業行動の理論(3) 内 容：一般的な場合の企業行動、利潤と所得分配 教科書 第2章
第11回	テーマ：市場均衡(1) 内 容：部分均衡分析 教科書 第3章
第12回	テーマ：市場均衡(2) 内 容：経済政策の評価、余剰分析(価格規制、個別間接税、自由貿易) 教科書 第3章
第13回	テーマ：市場均衡(3) 内 容：一般均衡分析、エッジワースボックス、パレート効率性 教科書 第3章
第14回	テーマ：市場均衡(4) 内 容：生産を含む経済の一般均衡分析 教科書 第3章
第15回	テーマ：市場均衡(5) 内 容：厚生経済学の基本定理、まとめ 教科書 第3章